

館報 はた

スージーちゃん スイワくん

平成30年5月1日現在

世帯数	6,142戸
人口	15,734人
男	7,588人
女	8,146人

波田地区の地域づくりに寄せて

波田地区町会連合会長 石川政幸



今年の春は、例年に比べて少し早く訪れたようです。皆様にはご健勝でお過ごしのこととご推察申し上げます。

日頃は、町会の運営に際しまして、ご理解ご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。さて、身近にあります町会とは、どのような活動をしているのか、今一度確認をしたいと思えます。

町会連合会の資料によりますと、行政から住民の皆さんに対する情報提供。市や県からの各種情報配布物を各家庭に配布。町会を単位に、防災、防犯、環境衛生や交通安全等に関する地域の要望を行政に反映させる。防犯灯の設置管理、ごみステーションの管理、高齢者の支援や、小中学校PTAの地区活動等の地域福祉活動を行う。近年、各地で大地震が発生している現状から、各町会では万一の災害に備えた自主防災組織の活動

をする。公民館活動の面では、各種体育大会に公民館単位で参加、町会独自の旅行やレクリエーション、ボランティア

活動を行い住民の親睦を図る。などであります。これにより、町会に加入いただきますと町会費の負担、会合への出席、役員を担いだりいただくにもなります。

現在、波田地区では27町会が組織され、各町会長さんのもつて日々活動がされています。

毎年2月には、波田地区「絆づくり推進会議」が主催します、地域づくりシンポジウムが開催され、各地区の事例発表、講演会により、各町会から参加した皆さんとともに多くのことを学んでおります。

27町会は、波田地区町会連合会を結成して、毎月定例会を開催し、市からの情報の共有活動の決定等をしております。この他、町会連合会は、他

団体と連携をして、25の委員会に各町会長さんが参画しております。

特に、波田まちづくり協議会とは、発足の経過からして密接な連携がされております。本年1月下旬から3月上旬にかけては、新たな事業展開のため、各地区住民説明会を開催し、貴重なご意見をいただきました。

住民説明会は長年なくて、意見を言うとてもよい機会になりました。根を下ろした住民ニーズをとらえて活動いただきたいとの意見は、傾聴に値するものでした。

このことは、町会単位でも心がけねばならないことと感じています。

毎年10月に開催されます、福祉ひろば祭りには大勢の皆さんの来場をいただき、農産物販売品等の中から、民生児童委員会と一緒に、波田地区社会福祉協議会にご寄付できることも、感謝する活動



福祉ひろば祭り



水輪花火大会

このことから、松本市立病院が地区内に移転新築されることは、ありがたいことと町会連合会も病院を核

のひとつです。

松本水輪花火大会、波田ささい祭も重要な活動の1つです。花火大会のポスター原画には、梓川、波田、大野川小学校の児童の皆さんから、300点を超える原画作品を出展いただき、立派なポスターを毎年配布することが出来ます。

波田、梓川地区の住民の皆様、賛同する企業の皆様から多くの寄付金が寄せられ、松本市西部地区のイベントとして、地域への経済波及効果も年々増してきておりますし、地域住民への交流促進にも、大きく寄与しております。

このように多くの団体とともに、よりよいまちづくりに、今後とも活動を続けてまいります。波田地区を取り巻く状況は、資料によりますと、人口は松本市地区の中で3番目に多く65歳以上の人口は、市内35地区の中、一番多くなっております。

とした、地域包括ケアシステムモデル町会をお願いし、取り組みを進めてまいります。一方いくつかの課題もありません。新聞等で報道されている、町会加入率のこと、町会内の担い手のこと、ボラン

ティア活動の後継者のこと、男性の参加が少ないこと、若者の参加のこと、高齢者を支える仕組みづくりのこと、等があります。

今般、微力な私が連合町会長とのことで、赤面の至りです。各町会長さんのお力をいただき務めさせていただきますので、ご支援ご協力をお願いいたします。

平成30年度 波田公民館職員体制について

4月の人事異動に伴う波田公民館の職員体制は次のとおりとなります。

- 公民館長 古波田 守
- 館長補佐 高木 勝
- (波田支所長補佐と兼務)
- 主査 大月 美知
- 嘱託職員 上條 康恵
- 臨時職員 吉澤 和枝

以上の体制で公民館業務を運営していきます。よろしくお願いたします。

